

# Skip UP!

2012年10月31日

発行責任者 森川 学

NO. 14

編集責任者 情 宣 部

## 2012年度 年末手当

# 第2回交渉報告

中央本部は、本日10時より第2回年末手当交渉を行いました。今回は会社から収入動向についての説明を受けました。

## 会社【収入動向について】

### ○鉄道事業部門

- ①上半期の輸送状況は自然災害や輸送障害によって、約800本の列車が運休となった。
- ②コンテナ輸送の収入は対前年比105.7%で、一方車扱輸送は94.3%となった。
- ③収入拡大については、災害廃棄物輸送や国際物流（下関～上海）の展開などを行う。
- ④下半期については必ずしも楽観できないが、これ以上の落ち込みは無いと考える。
- ⑤災害廃棄物輸送は現在、日発で約150個輸送し、年明けに1本増設の可能性もある。

### ○関連事業部門

- ①関連事業収入は、現時点では収入計画を達成できる見込みである。
- ②開発可能な用地も減少し、今後は厳しくなるが、収入確保に向け取り組んでいく。

## 組合【会社の説明に対して】

- ①多発する輸送障害に対してこれまで何ら対策が取られていない。安定輸送のために社をあげて旅客会社等としっかり交渉すべきである。
- ②収入拡大に関して、会社は危機的状況にもかかわらず、危機感が全く感じられないのは問題である。経営陣は覚悟を見せよ。

## 会社【組合の指摘に対して】

- ①新規荷主の獲得や大手荷主への増送要請を通じて、計画の達成に向け努力する。
- ②収入については毎週経営会議等を行っている。また、組合の指摘はしっかり伝える。

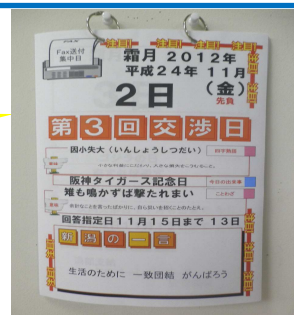
会社から現状に対する危機感は全く感じられない(怒)!!

輸送障害に対する対策を全くやってこなかったのは

貨物会社の怠慢であることを会社は認識せよ!!

収入未達の責任を青年部員に転嫁するのは絶対許さない!!

危機感の無い本社経営陣に怒りの抗議の声を集中しよう!!



次回交渉は11月2日です